



施設の更新

小塩津配水池は、補修しながら使ってきましたが、老朽化が進んでいるため、同じ場所での建て替えを計画しています。

管路の耐震化

基幹管路(送水管などの主要な水道管)について、優先的に耐震化をしています。基幹管路の耐震適合率は38.8%です。

「あたりまえ」の水道が続く未来のために

人口が減少すると、水道事業を運営するために必要な資金である水道料金収入は減少していきます。また、水道管や施設の老朽化が進むと、漏水事故や設備の故障などが発生し、市の隅々まで途切れることなく、水を届けることが難しくなります。

田原市の水道管の長さは約700kmにも及びます。管路の更新率は近年、0.3から0.6%で推移しており、このままのペースで進むと市内すべての水道管を更新することだけで100年以上かかる計算になります。

田原市の水道が迎える未来は、さまざまな課題を抱えています。蛇口をひねると、いつでもきれいな水が使える。そんな「あたりまえ」の生活は、簡単なことではないのかもしれない。

水道管や施設は、水道を使用する人の財産です。「あたりまえ」の水道が続く未来のために、みんなの共有の財産である水道を、みんなで守っていきましょう。

